



2018年3月期 決算説明資料

株式会社イントラスト

〈証券コード：7191〉



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 1. 会社概要**
- 2. 2018年3月期 業績**
- 3. 2019年3月期 業績見通し**
- 4. トピックス**

1. 会社概要

- 会社名 : 株式会社イントラスト
- 設立年月日 : 2006年3月
- 資本金 : 10億30百万円
- 決算期 : 3月
- 代表取締役 : 桑原 豊
- 本社所在地 : 東京都千代田区麹町1-4
- 主な拠点 : 秋田市、富山市、名古屋市、大阪市、岡山市、福岡市
横浜ソリューションセンター
- 従業員数 : 92名
- 事業内容 : 総合保証サービス業



2. 2018年3月期業績

業績ハイライト

2018年
3月期

- ・ **高い成長性**、前期比 売上 9% ↑ 営業利益 27% ↑
- ・ **高い収益性**、経常利益率 25% 超（過去最高）
- ・ **成長の要因**、ソリューション事業がプラス寄与
 - ⇒ 既存のC&O（コンサル&オペレーション）
 - ⇒ 新規の入居申込審査業務
 - ⇒ 保険デスクサービス
- ・ **新たな成長**、高い収益性を維持しながら着実に開拓
 - ⇒ 高齢者向け家賃債務保証・事業用家賃債務保証
 - ⇒ 医療費用保証・介護費用保証
 - ⇒ 養育費保証

ソリューション事業の成長と業務効率の更なる改善により、 過去最高の営業利益および高水準な成長を実現

(単位：百万円)

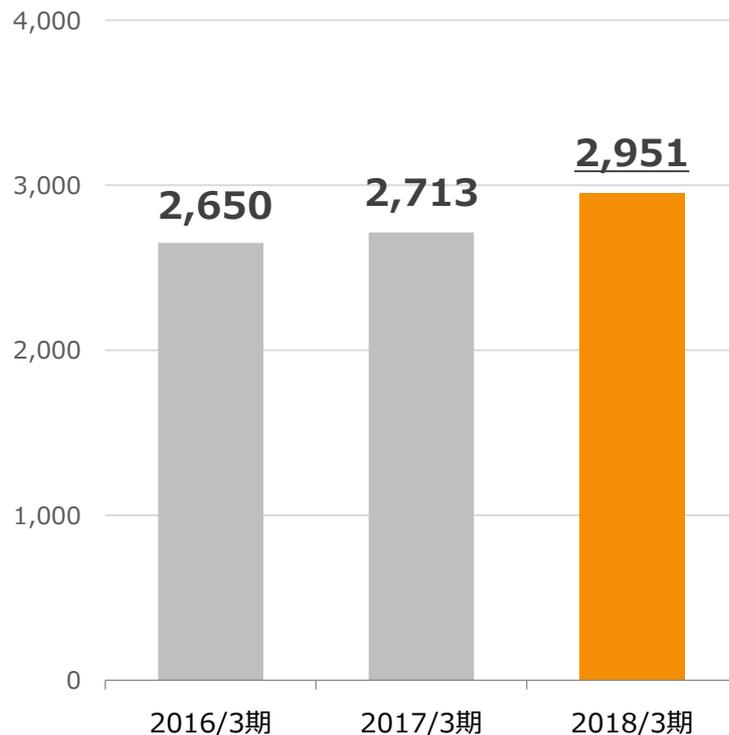
	2017年3月期		2018年3月期		前期比	差異要因
	実績	売上高 比率	実績	売上高 比率	増減率	
売上高	2,713	--	2,951	--	8.8%	ソリューション事業の伸展（前期比27.6%）が主たる要因
売上原価	1,432	52.8%	1,501	50.9%	4.8%	業容拡大による人件費増も、その他の費用増を抑制し原価率は減少
売上総利益	1,280	47.2%	1,450	49.1%	13.3%	
販売管理費	671	24.8%	677	23.0%	0.9%	売上増加も、前年とほぼ同額に抑制
営業利益	608	22.4%	772	26.2%	27.0%	売上増加に伴う費用増を一定水準に抑制したことにより営業利益率向上
経常利益	598	22.0%	752	25.5%	25.8%	今期は東証一部市場変更費用計上
税引前当期純利益	598	22.0%	752	25.5%	25.7%	
親会社に帰属する 当期純利益	409	15.1%	508	17.2%	24.3%	

2018年3月期 売上高・営業利益（率）推移

**営業利益率は3期連続20%超、過去最高を更新。
安定的な高収益事業基盤を確立**

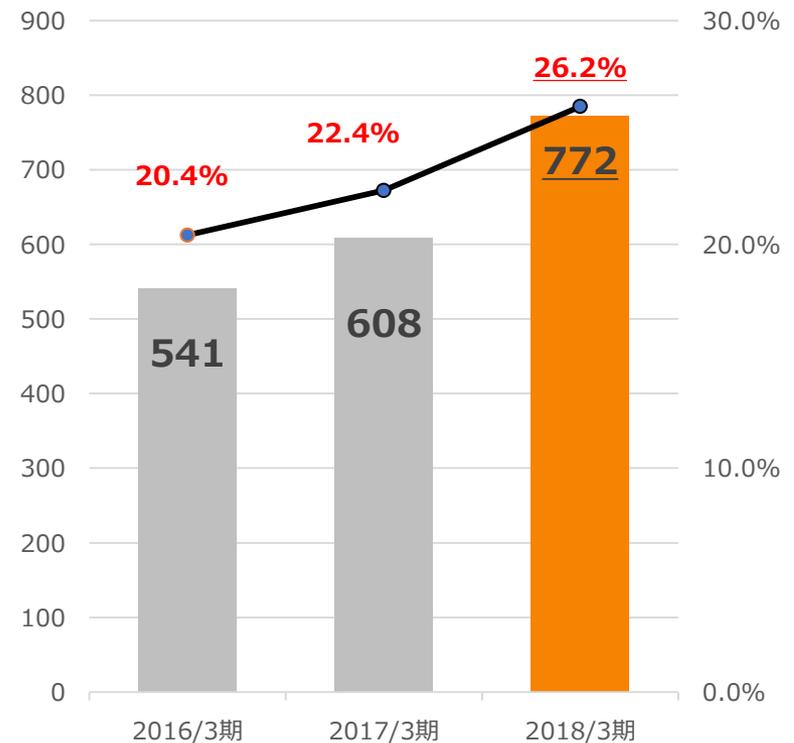
売上高

(単位：百万円)



営業利益・営業利益率

(単位：百万円)



堅実な無借金経営を実現 総資産に占める現預金比率の高さも注目

(単位：百万円)

	2017/3期	2018/3期	増減額		2017/3期	2018/3期	増減額
流動資産	2,957	3,266	309	流動負債	1,037	994	△ 43
現金・預金	2,259	2,613	353	買掛金	1	1	0
売掛金	167	181	14	未払法人税等	200	152	△ 47
立替金	694	683	△ 10	前受収益	606	595	△ 10
その他	262	228	△ 34	保証履行引当金	82	63	△ 18
貸倒引当金	△ 426	△ 439	△ 12	その他	147	180	33
固定資産	210	239	28	固定負債	71	69	△ 2
有形固定資産	48	66	18	資産除去債務	33	38	5
無形固定資産	42	38	△ 3	その他	38	30	△ 7
投資その他資産	120	134	13	純資産合計	2,058	2,442	384
資産合計	3,168	3,506	338	負債純資産合計	3,168	3,506	338

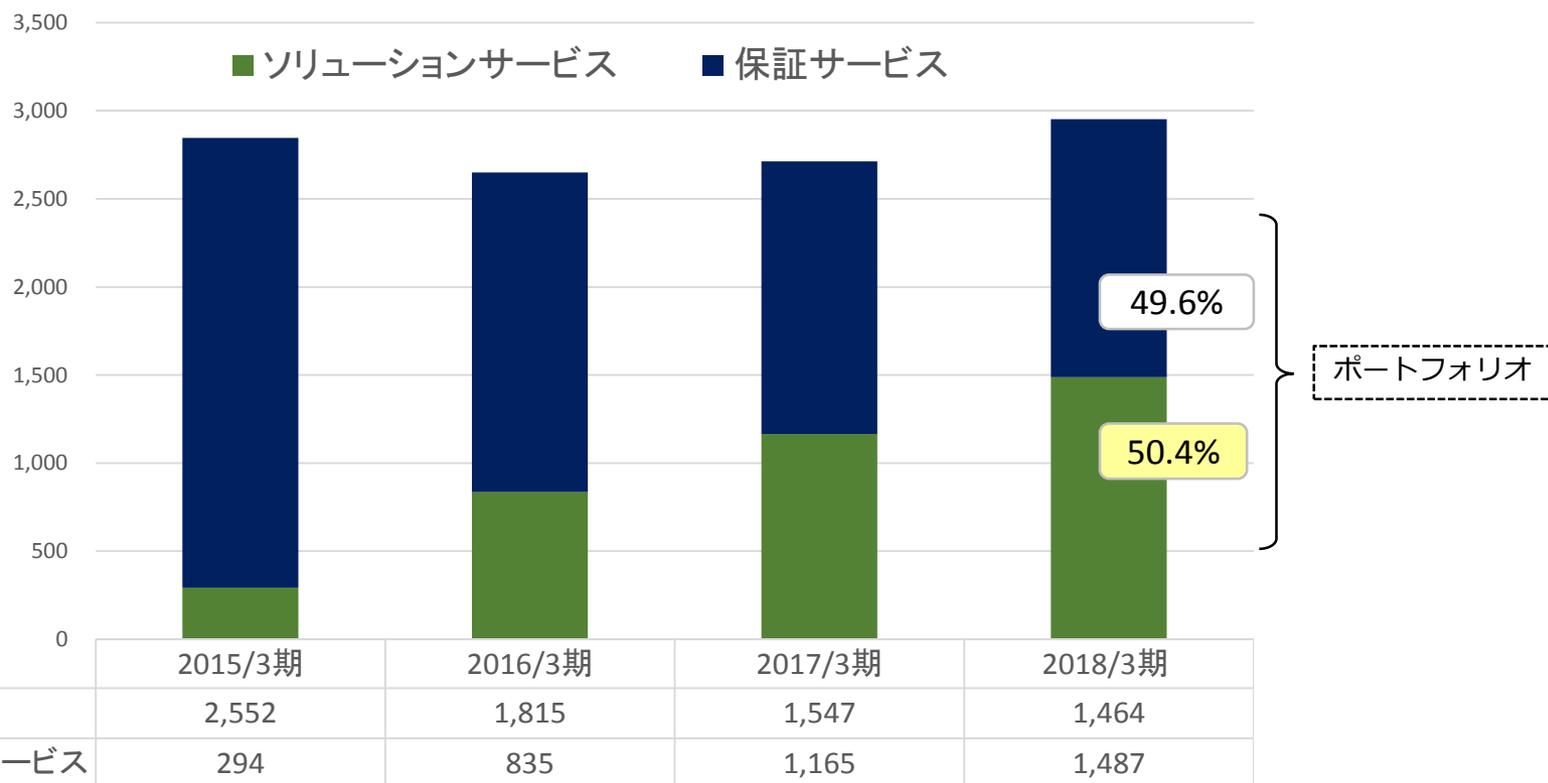
フリーキャッシュフローは3期連続のプラス 財務キャッシュフローの減少は主に配当金支払い

(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	343	532	189
投資活動によるキャッシュフロー	△30	△54	△23
財務活動によるキャッシュフロー	1,265	△124	△1,389
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,577	353	△1,224
現金及び現金同等物の期首残高	681	2,259	1,577
現金及び現金同等物の期末残高	2,259	2,613	353

大手顧客のサービスが保証からソリューションに切替り、 着実に成長。新規案件受注で安定成長基盤を構築

＜サービス別売上高＞ 大和リビングで連帯保証人不要制度が導入され、保証サービスからソリューションサービスへ順調に移行



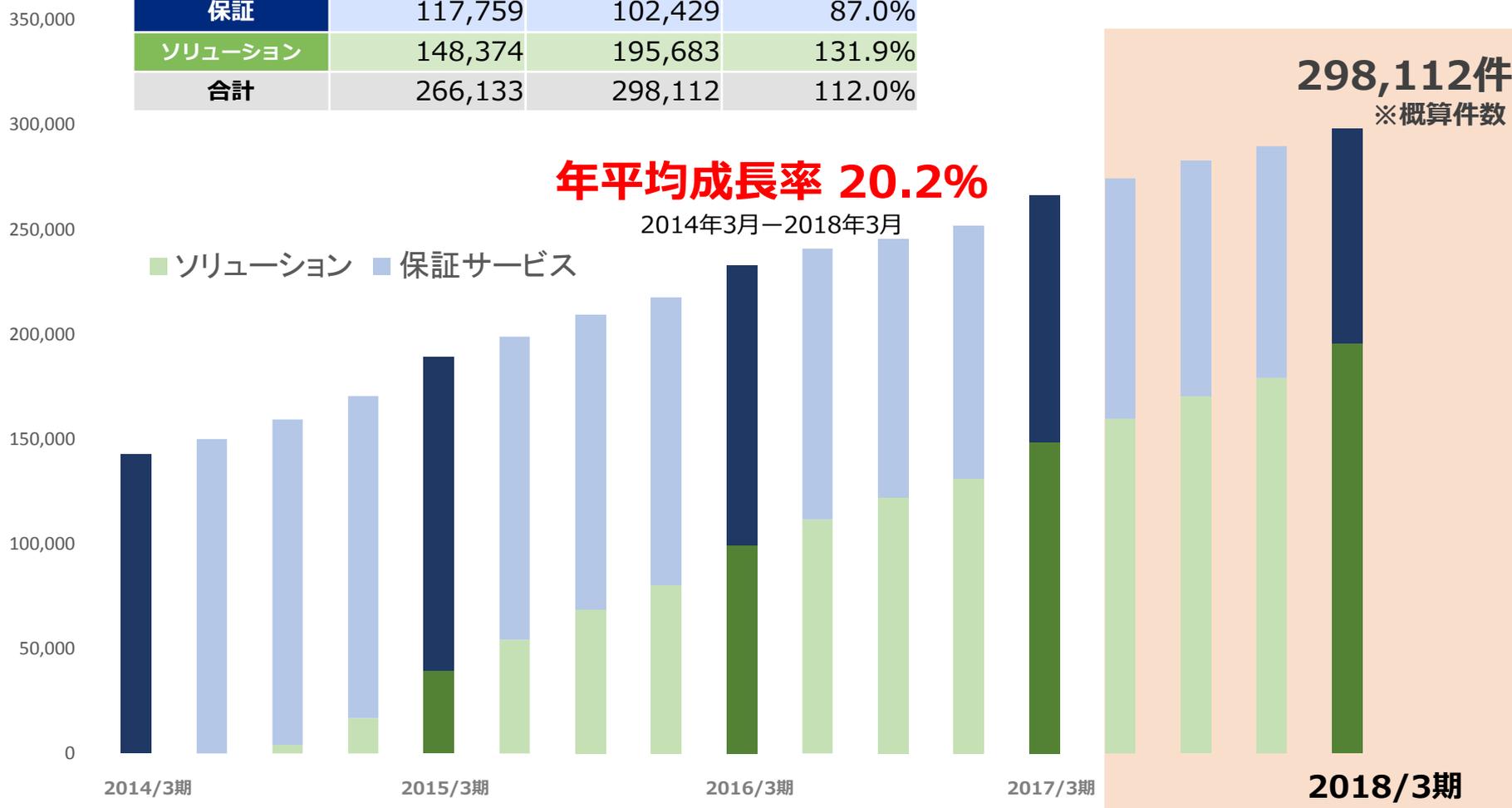
(単位：百万円)

2018年3月期 家賃債務保証事業における保有契約件数推移

創業以来、順調に成長

(件数)	2017年 3月末	2018年 3月末	前期比 (%)
保証	117,759	102,429	87.0%
ソリューション	148,374	195,683	131.9%
合計	266,133	298,112	112.0%

(単位：件)



成長分野 医療費用保証・介護費用保証マーケットでの
生産基盤、着実に増加

医療機関

〔業務提携〕

94 医療機関

(前年比 **162%**)

20,577 病床

(前年比 **148%**)

介護施設

〔業務提携〕

142 介護事業者

(前年比 **121%**)

(2018年3月末時点)

3. 2019年3月期 業績見通し

業績見通しハイライト

2019年
3月期

- ・ 売上高成長率 17% (予想)
 - ⇒ プラス寄与
 - ・ 既存のC&O (コンサル&オペレーション)
 - ・ 新規の入居申込審査業務及び保険デスクサービス
 - ・ 保証新分野の医療費用保証・介護費用保証
- ・ 高い利益成長持続、経常利益成長率 23% (予想)
- ・ 売上増加に伴い経常利益率も増加 27%超 (予想)
- ・ 株主還元の持続的向上、配当性向 25% (予想)

前年を上回る売上成長と高水準な利益率の維持により 高収益を実現

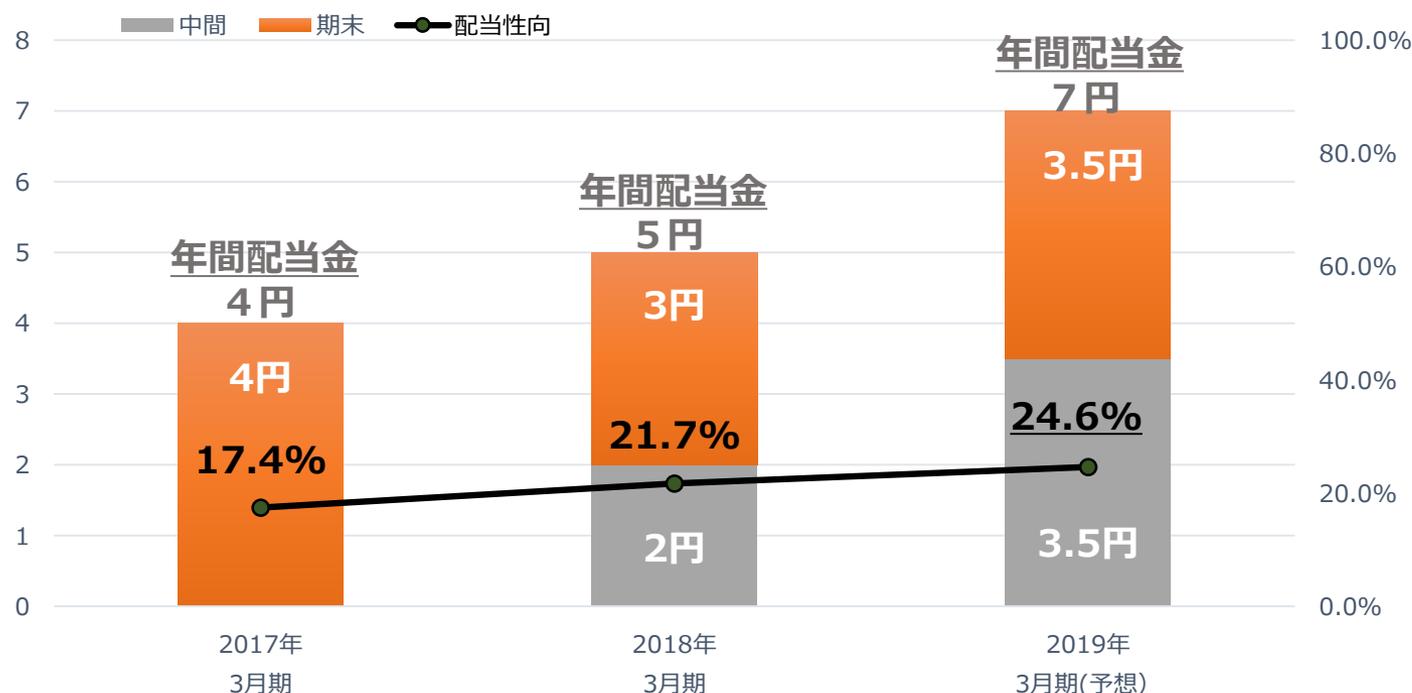
(単位：百万円)

	2018年 3月期 (実績)	2019年 3月期 (予想)	前期比 (増減率)
売上高	2,951	3,440	16.5%
営業利益	772	925	19.7%
経常利益	752	925	23.0%
当期純利益	508	630	23.8%

2019年3月期 配当予想

配当方針

当社は将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績と連動した安定的な配当を継続していくことを基本方針としております。



* 2017年3月期の配当については、普通配当3円、記念配当1円（東証マザーズ上場を記念して）となっております。

* 2018年3月期の配当については、通期業績予想の上方修正と同時に期末配当の上方修正（1株当たり2円から3円）を行っております。

4. トピックス

2018年3月期 トピックス

高齢者向け家賃債務保証 商品拡販

平成29年8月、大和リビング株式会社
平成30年1月、パナソニック ホームズ
不動産株式会社にて、見守りサービス
自動付帯の家賃債務保証商品を販売
開始

株式会社エランと医療費用 保証分野で業務提携

平成30年2月、業界初の医療費用保
証付き入院時必需品レンタルシステム
「CSセットR」を共同開発

ソリューション事業の拡大 (横浜ソリューションセンター新設)

ソリューション事業の急成長に伴い横浜
ソリューションセンター開設
主に入居申込業務と保険デスクサービ
スを実施
平成29年12月より本稼動

保証事業「養育費保証」 開始

平成30年2月、新商品「養育費保証」
販売開始
業界初の養育費保証で総合保証サー
ビス会社としてビジネス領域を拡大

**イントラストは保証スキームで社会インフラを提供し、
サービスと流通の活性化を実現します**

株式会社イントラスト



資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた判断・予想に基づくものですが、リスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定及び考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他の関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

問合せ窓口：株式会社イントラスト IR
Email: info@entrust-inc.jp